

## 香川県地区小型船安全協会の活動について

令和5年8月24日  
高松海上保安部航行安全課

### 1、香川県地区小型船安全協会の概要

香川県地区小型船安全協会（以後、香川地区小安協という。）は、高松海上保安部のサポートをいただきながら、香川県や沿岸自治体のご支援により香川県の沿岸海域において、モーターボート、ヨット、遊漁船、瀬渡船等小型船舶の海難の防止、運航マナーの向上、海洋環境の保全等を図ることにより、マリンレジャーの普及と発展に寄与することを目的とし、昭和52年に発足して以降さまざまな活動に取り組んでおり、会員数は令和5年4月1日時点で377名です。

#### (1) 主な活動

- ・単独パトロール、訪船指導（令和4年4月1日～12月31日466回）
- ・高松海上保安部等との合同パトロール（毎年4回）
- ・安全講習会（毎年6回）
- ・稚魚放流（毎年2回）タイ、ヒラメ、タケノコメバルなど
- ・ファミリーマリンスクール（毎年1回）
- ・支援物資輸送訓練（毎年1回）
- ・会報誌の発行（毎年2回）
- ・潮汐表の作成（毎年1回）

- (2) 香川地区小安協の会員の中から第六管区海上保安本部長より海上安全指導員45名及び安全パトロール艇38艇の指定を受け(令和5年4月1日時点)、上記(1)記載の主な活動においても主体となり推進しており、結果、備讃瀬戸での小型船舶の海難防止及びマナー向上に大きく寄与しています。

### 2、支援物資輸送訓練について

令和元年6月25日に香川県と香川地区小安協は、協会会員の小型船舶による被災者や物資の緊急輸送業務を行うことを目的とした、「災害時における小型船による輸送等に関する協定」の締結式を行い、香川県知事と香川地区小安協会長との間で協定書を取り交わし、以降、支援物資輸送訓練を毎年県内各所で実施しています。

支援物資輸送業務を安全かつ確実にを行うための県下有人島（24島）の集落や海岸の状況、係留施設の調査を香川地区小安協の事業として継続実施中です。

### （1）訓練の状況

#### ①令和2年度

実施日： 令和3年3月9日

参加団体： 四国運輸局、香川県、小豆島町、土庄町小豆島ふるさと村、日本赤十字社香川県支部、海の駅ネットワーク事務局、高松海上保安部、当協会の海上安全指導員

概要： 本訓練は当初3月2日に実施予定であったが、荒天のため延期され規模を縮小しての開催となった。当日は、高松港湾合同庁舎前面公共岸壁から小豆島ふるさと村に向けて四国運輸局の補助で制作した＜支援物資輸送中＞の横断幕を2艇のパトロール艇に掲げ、輸送時に必要なブルーシート等の資機材や飲料水・食料や感染症対策の手指消毒液などを輸送しました。TVニュースでも放映されました。



支援物資の積み込み（高松港）



支援物資の荷卸し（小豆島ふるさと村）

#### ②令和3年度

実施日： 令和3年11月18日

参加団体： 四国運輸局、香川県、三豊市、日本赤十字社香川県支部、赤帽香川県軽自動車運送協同組合、高松海上保安部、仁尾マリーナ艇、瀬戸マリーナ艇、当協会の海上安全指導員

概要： 災害により陸路が遮断され孤立した地域へ海上から支援物資を輸送する想定で実施した。三豊市仁尾町の仁尾マリーナから三豊市詫間町の箱浦港に向けて＜支援物資輸送中＞の横断幕を2艇に掲げ、資機材や飲料水・食料などを輸送、三豊市詫間町の瀬戸マリーナからは日赤の医療物資等を輸送した。また、箱浦港では地元の自治会の方々も参加し、日赤によるAED講習も実施され、

総勢50名余りが参加しました。

訓練の状況はTVや新聞で報道されました。



支援物資の積み込み (仁尾マリーナ)



日赤による AED 講習 (箱浦ビジターハウス)

### ③令和4年度

実施日：令和4年11月14日

参加団体：四国運輸局、香川県、高松市、高松海上保安部、  
当協会の会長及び海上安全指導員

概要：災害により備蓄物資が枯渇した地域へ海上からの支援物資輸送を県から依頼された想定で実施した。高松市浜ノ町ヨットハーバーから高松市男木島の男木港に向けて「支援物資輸送中」の横断幕を掲げた安全パトロール艇3艇により、ブルーシート等の資機材や飲料水・食料などを輸送した。

男木港では地元自治会、コミュニティ、市の担当者らに支援物資が届けられ、総勢30名余りが訓練に参加した。

訓練の様子は新聞や高松市のYouTubeチャンネルにアップされました。



支援物資の荷卸し (男木港)



#### ④令和5年度

実施日： 令和5年7月25日

参加団体： 四国運輸局、香川県、直島町、日本赤十字社香川県支部、トラック協会、高松海上保安部、当協会の会長及び海上安全指導員

概要： 地震による大規模災害に伴い、直島の備蓄物資が枯渇したことを想定し、香川県から要請を受け、安全パトロール艇にて飲料水等の支援物資及び日本赤十字社香川県支部の救援物資を海上輸送する訓練を実施しました。

訓練の様子はTVニュースや新聞で報道されました。



出発式での松本会長による挨拶（高松港）



支援物資の荷卸し（宮浦港）

# 事務局だより

令和5年 9月

今月は香川県総合防災訓練の活動を紹介したいと思います。

## 香川県総合防災訓練を紹介します

令和5年度 香川県総合防災訓練がさぬき市において、9月3日（日）実施された。本年度は香川県とさぬき市との合同開催、当日46の団体から約400名が参加。かがわ自主ぼうは避難訓練と避難所の「受付」と「設営」を担当。地元さぬき市鴨庄支会自主防災会の皆さんと共に頑張りました。



午前 10 時すぎには、池田知事さんもおいでになり、設営されたダンボールベットを  
実体験していただき、その後、労いのお言葉をいただきました。



「展示コーナー」には、川西地区自主防災会が防災用機器の展示として、大型発電機  
（2 台）と要配慮者用モデルの避難部屋を展示。ベットにエアーマットを活用。大型  
発電機からの送電によってエアコンも運転、快適さを演出させていただきました。更  
に本年度は福祉用機材をまとめて展示を行ないました。

本年も地域企業のクレーン付 5 t 車の支援をいただき、県の訓練に参画することがで  
きました（18 年連続）。倉庫から搬出、搬入の単純作業ですが、重量物を扱いますの  
で、神経を使いますが、暑い中会員皆様のガンバリで無事終了。おつかれ様でした。

## 編集後記

9 月の防災減災の輪は、高松海上保安部航行安全課様の原稿を掲載させていた  
だきました。ありがとうございました